



要保存

ライフジャケット

国土交通省型式承認品

BJ-270 型

作業用救命衣

(小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの)

(膨脹式)

取扱説明書

安全のため、使用前に必ず全てをお読み下さい。

製造元

東洋物産株式会社

東京都杉並区和田 3-53-14

Tel 03-3312-1471 Fax 03-3312-1560

URL: <http://www.toyo-bussan.co.jp>

はじめに

この度はライフジャケット BJ-270 型をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。本書では製品を安全にご使用頂くための注意事項について説明しています。ご使用前に本書を必ずお読みの上、ご使用頂きますようお願い致します。

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全にご使用いただくための、重要な情報が記載されております。本製品をご使用になる前に、必ずお読み下さい。特に「安全上のご注意」を、必ずお読みになり、ご理解された上で、本製品をご使用下さいますようお願い致します。また、本書は、製品をご使用になるとき、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管しておいて下さい。

本製品の基準について



本製品は、船舶設備規定、及び小型船舶安全規則に基づく、作業用救命衣、小型船舶用救命胴衣の要件を満たしたものです。

また、2013年に改正された型式承認基準に適合した製品です。


説明書について


- 本書の内容の一部、または全部を無断で、転載する事は、禁止されております。
- 本書の内容について、将来予告なく変更する事があります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や、誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、弊社又は取り扱い販売店まで御連絡下さい。


本書の表記について

●警告表示について

次の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人に加えられる恐れのある危険や損害を、未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解のうえ、本文をお読み下さい。

 危険	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
---	--

 警告	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
---	---

 注意	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
---	---

安全上のご注意

危険

- 本製品は、救命具としての用途以外には使用しないでください。
- 本製品は一人分の浮力しかありませんので、複数の人に対しての対応はできません。
- 本製品は着用者の頭部を水面上に出す浮力を持ち、呼吸をしやすくする機能がありますが、生命の安全を保証するものではありません。(高波・うねりや体温低下には注意が必要です。)
- 着用手順に従い着用してください。誤った方法で着用されると、ライフジャケット本来の機能が損なわれる場合があります。
- 浮力体となる気室に傷をつけないでください。特に針には注意してください。気室に穴が開きますと、アダプタ付ポンベから充填したガスが漏れ、本来の機能をはたす事ができません。着用中の転倒や針掛かり等で、気室や膨脹装置に傷や破損が見られる場合は直ちに確認し、ガス漏れがあった場合は、直ちに使用を中止し、新しいものと交換してください。
- 本製品を分解又は改造しないでください。
- 本製品は、スプール(水分感知具)が感知して膨脹する仕様ですが、これは補助的な機能でありお客様の安全を素早く確保する意味で、落水時は手動にて作動索を引き膨脹させてください。万が一膨脹装置が作動しない場合は、外装布の面ファスナーを外し、左内側の吸気チューブより直接口で息を吹き込み気室を膨脹させる事ができます。
- 膨脹装置を手動・自動にて一度作動させた場合は、ポンベ・スプールのパーツを必ず交換して使用してください。再使用はできません。
- お客様の安全を考慮し、ご購入後1年を経過した場合、ポンベ・スプールを交換してご使用下さい。
- 水中で浮遊する場合岩や鋭利な浮遊物等には、できるだけ近づかないでください。気室を傷つけ、使用できなくなる恐れがあります。磯では使用しないでください。

警告

- 本製品を投げたり、落としたりしないでください。膨脹装置の故障や誤作動による不具合が生じる場合があります。
- 煙草などの火気に近づけたり、針や突起物等の、鋭利な物による突き刺し・引っ掛けなどの破損には十分注意してください。着用前に鋭利な物(ピンオンリール・ピン付バッジ・ハサミ等)は取り外してから使用してください。気室に穴があき使用できなくなる恐れがあります。
- 本製品を着用する前に、吹き込み口から空気を注入しないでください。膨脹装置が作動した時、気室内の圧力が過大になり、気室が破損し使用できなくなる恐れがあります。
- 本製品を着用する場合は、必ず着衣の一番上に着用してください。本製品の上にバッグ等を着用したり、着衣の下(内側)に着用しますと、自動膨脹装置の作動が遅れたり、膨脹するスペースが制限される等で、本来の機能が阻害される恐れがあります。
- 膨脹装置内部のスプールが濡れると自動膨脹します。強い波や雨などがスプール部に当たらないようにしてください。
- 万が一、不意に膨脹する場合を想定し、予備のボンベ・スプールを携帯する事をおすすめします。

注意

- ご使用前に必ず添付の取扱説明書(本書)を必ずお読みください。
- 本製品を湿気の多い場所や、雨ざらしの場所・船上等で保管・放置しますと、スプール(水分感知具)が湿気を感じ自動膨脹する恐れがありますので、保管時・着用しない時は、乾燥した場所で管理してください。また、直射日光・光源の当たる場所や、薬品・溶剤・油と接触する場所や熱源等の高温になる場所、ネズミ等の害を受ける場所では保管しないでください。
- 着用する前に、バックル・胴締めテープ等の部品が、傷ついたり、破損したりしていないか必ず確認してください。
- 本体が汚れた場合は、洗濯機で洗ったり、乾燥機・アイロンを使用しないでください。膨脹したり破損や劣化の原因となります。柔らかいスポンジ等に薄めた中性洗剤を染み込ませて、汚れた部分を拭き取る程度にしてください。
- 本製品の上に座ったり、重いものを乗せないでください。トランクや車内での長期保管はしないでください。破損や劣化の原因となります。



救命衣をお使いになる前に(必ず確認して下さい。)

ここでは、本製品をご使用になる前に必要な確認事項について説明致します。

製品及び付属品をご使用前に必ず確認してください。

万一不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- アダプタ付ポンベ(未使用品)は確実に、緩まず膨脹装置に装着されていますか？ポンベインジケータは緑色に表示されていますか？

- 作動レバーが確実に上まで上がっていますか？

- スプール(水分感知具)は異常ないですか。スプールインジケータは緑色に表示されていますか？

- 本製品の標示部に検定合格印(サクラマーク)が、押印されていますか？

- 膨脹装置のナットが緩んでいたたり、外れていませんか？

製品説明及び部品構成

主な規格及び性能

NO	項目	規格及び性能
1	タイプ	作業用救命衣(膨脹式) (小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの)
2	型式名	BJ-270 型
3	型式承認番号	第5417号
4	浮力	初期 10.8kg 24 時間後 7.5kg 以上
5	サイズ	フリーサイズ
6	製品重量	700g

各部の名称 (BJ-270)

作業用救命衣 (小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの) (膨脹式)
BJ-270

【上面図】

【正面図】

【裏面図】

【気室図】

番号	項目	材質	規格	品番
1	外装布(表地)	ナイロン	綾織	
2	外装布(裏地)	ポリエステル	Wラッセル	
3	胴ベルト	ナイロン	平織 1.4×38mm	
4	胴バックル	ポリアセタール	38mm	IB38SAD
5	ボタン	ポリアセタール		
6	線取りテープ	ポリエステル	2.0mm幅	
7	面ファスナ	ナイロン	3.8mm幅	
8	面ファスナ	ナイロン	1.5mm幅	
9	気室布	ナイロン 100% 210d	東洋ウレタンケレンター加工	T-5135W
10	再帰反射材	型式承認品	50×100mm	
11	気室連結テープ	ナイロン	平織 1.5×25mm	
12	気室連結バックル	ポリアセタール	2.5mm幅	IB25SA
13	カット装置	ポリアセタール		JW-12
14	アダプタ付炭酸ガスボンベ	CO2	1.7g	LA-28-17g
15	ボタン	ポリアセタール		
16	保護カバー	PVCフィルム	0.5mm厚	
17	補助送気装置	ポリウレタン		
18	筒収納ゴム	オベロンゴム	50mm幅	
19	筒	スチロール		
20	筒紐	ポリエステル	2mmφ	
21	面ファスナ	ナイロン	1.5mm幅	
22	注意片布	ナイロン		
23	縫糸	ポリエステル	20番	GXIII
24	縫糸	ポリエステル	30番	

(寸法は標準寸法を示す) 寸法許容差 ±5%以内 単位: mm

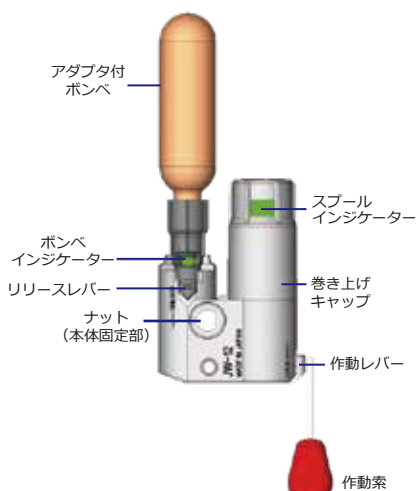
自動膨脹装置

構造図及び部品名称

本装置は、水分を感知するスプール、巻き上げキャップ、作動索、作動レバーにより構成された装置に、アダプタ付ポンベを装着することにより機能する構造になっています。本装置は、スプール(水分感知具)が水没することにより、スプール内の材料が溶解し、作動軸が開放され、この事により作動レバーが押され、ポンベのアダプタ内の撃針がポンベの封板を破り、ポンベ内の炭酸ガスが気室に充填される仕組みになっています。

また作動索を引っ張ることにより、作動レバーを持ち上げ、前記と同様に撃針を介してポンベの封板を破ることもできる、手動、自動兼用の装置です。

膨脹装置 構造図



⚠ 危険

膨脹装置点検確認(ご使用前に必ず確認してください。)

- ① ポンベは、未使用のものが取り付けられていること。
(ポンベインジケータが緑色になっている事を確認する)
(表示窓に一部でも赤が表示されている場合は使用しないでください。)



○(緑)



×(赤緑)



×(赤)

- ② 作動レバーが、下方におりていないこと。(ポンベに穴をあけている可能性があります)

また、作動レバーが下方におりた状態でポンベを取り付けると、ポンベが開栓する、もしくはポンベ表示が①のように赤緑半々になり、交換するポンベが使用できなくなる恐れがあります。

- ③ スプールは、未使用のものが取り付けられていること。
(スプールインジケータが緑色になっている事を確認する)



○(緑) ×(赤)

- ④ 巻き上げキャップをストッパーが当たり、赤色が見えなくなるまで締めこんでいること。



○

×

- ⑤ その他、ナット等の締めつけ部に緩みの無い事。
(膨脹時にガスが漏れる可能性があります)

上記の項目を満たしていない場合は、使用しないで販売店にご相談下さい。

注意

保管方法及びメンテナンス

保管及びメンテナンスにあたっては、次のことに注意してください。

1. 高温、多湿及び直射日光の当たる場所での保管は避けてください。膨脹装置に水分が一定以上入ると、自動的に膨脹しますので、誤作動のないように注意して下さい。
2. 外側の外装布は、気室布を保護する役割も兼ねています、黄色い気室布が外装布から飛び出していると損傷の原因となりますので、必ず外装布の中に収まるようにしておいて下さい。
3. 1年に1回は膨らませて、性能に問題ないか確認してください。
アダプタ付ポンベ及びスプール(水分感知具)は消耗品です。お客様の安全を自主的に確保する意味も含めて、ご購入後1年を目安に、スプールを交換してください。
(ポンベセットはアフターパーツ対応です。詳しくは販売店にお問合せください。)

危険

スプール(水分感知具)とアダプタ付ポンベの交換、及び再セット方法

●本製品は、本体の構成部が破損しない限り、スプールとアダプタ付ポンベを交換することにより、何度でも使用することが出来ます。必要な場合は次の方法で交換して下さい。(ポンベ・スプールは、本製品が自動膨脹した場合又は、ご購入後1年経過した場合には交換して下さい。)

- ① 膨脹している場合はガスを抜いてください。
(ガスを抜く方法:9ページ⑦)
- ② リリースレバーを下に押しながら、使用済みのガスポンベを左に回して取り外して下さい。
- ③ 巻き上げキャップを左に回してはずし、使用済みのスプールを取り出して下さい。
- ④ 新しいスプールをセットし、出っ張りがある方を下にして、巻き上げキャップをしっかりと締め、スプールインジケータが緑色になっていることを確認して下さい。(スプールセット場所の中の水分はきれいに拭取って下さい。)
- ⑤ 作動レバーが元の場所に「カチッ」と音が鳴るまで戻して下さい。
※作動レバーを元の場所に戻さずに、ポンベを装着すると、ポンベが開栓する、もしくはポンベ表示が赤緑半々になり、交換するポンベが使用できなくなる恐れがあります。(6ページ ①写真参照)
- ⑥ 未使用のアダプタ付ポンベの矢印部分に沿って、膨脹装置の奥まで押し込んだ後、右に回して下さい。(ポンベインジケータが緑色になっている事を確認して下さい。)
- ⑦ 膨脹装置が外側から見えるように気室布をたたみ、外装布の面ファスナーを閉じ、反対側も同様に吹き込みチューブが気室布の上に来るようにたたみ、衿部分は後方に巻き込むようにたたみ、周囲全部の面ファスナーを閉じてください。

⚠ 注意

製品・パーツの交換時期及び廃棄について

- 現在、ライフジャケットについての耐用年数は、国土交通省 型式承認基準としては設定されておりません。本製品は、使用頻度や、使用環境、並びに保管方法等により、万一、次のような兆候が製品に現れた場合や、極度に破損した場合は、速やかに新しいものと交換して下さい。
1. 外装布が摩耗したり、面ファスナーが取れて、気室布を保護する事が困難になった場合。バックルが割れたり、ベルト部などの縫製部が切れて体を保持できない場合。
 2. 膨脹装置にひび等が入り、気密性に問題が生じる可能性がある時。
 3. 外装布の上から、鋭利なものが刺さったりして、気室布を破損してしまった場合。
 4. 気室が熱や経時変化などにより劣化し、空気がもれる場合。
 5. 廃棄される場合は、産業廃棄物またはお住まいの自治体の指示に従って処理して下さい。
 6. ご購入後 1 年経過した場合には、ポンペ・スプールは交換してください。

⚠ 警告

着用方法及び使用方法について

- ① 刺繍やプリント・ワッペンなどを取り付けてある方が外側に、立体メッシュが体側に当たるように、ベルト胴衣を腰に巻く。



- ② 前のバックルをセット(カチッと音がするまで)し、本体が抜けないようにベルトを調整し、強く締めて体にフィットさせてください。



- ③膨張すると、左右前面に気室が飛び出てきます。気室先端のバックルを止め、テープを締めます。



- ④腰ベルトを緩め、できるだけ脇の下に持ってくるにより安定した姿勢になります。
※水中では、絶対に腰ベルトを外さないで下さい。



- ⑤膨らみが足りない場合は、補助送気管から、強く息を吹き込んで膨らませて下さい。補助送気管は、気温、水時間の変化により、気室内の圧力が低下し、十分な浮力を得られることができないときに使用するものです。
また、救助を求める場合はホイッスルを強く吹いてください。



- ⑥ガスを抜く場合は、補助送気キャップのつばの部分に補助送気管に差し込むと逆止弁が押され、差し込んだ状態のまま膨張している気室を押すと、充填されている気体を排出することができます。



⚠ 危険

水中で使用中の場合は、絶対にガスを抜かないで下さい。

収納方法について

①気室布と外装布を面ファスナーで止めます。

(3箇所)



②気室布を三回谷折りします。



③気室布の両端を中央に折ります。



④気室布と外装布を面ファスナーで止めます。



⑤作動索が出ていることを確認して、完成です。



YouTubeチャンネル

下記URLにライフジャケットのメンテナンス動画を公開しています。
随時製品を追加予定ですので、是非ご参照下さい。

チャンネル名: ESPADA公式チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC4xAkM4GEj-Dau0bjkRSjbA>

